

鑑賞文を書こう

名前

詩『返事』

窓辺の鉢に
昨日までなかった芽が出た
小さな緑に向かって
おはようと言うと
風がカーテンを揺らした
返事のように

鑑賞文を読み取る

問1 発展

上の詩『返事』を読みなさい。この詩の鑑賞文として最も適切なものはどれですか。

ア『おはよう』『返事のように』という表現から、芽や風を身近な存在として受け止める話し手の自然への親しみが表れている

イ私は植物を育てたことがあるのでこの詩が好きだ

ウこの詩は六行で書かれている

解答：ア

補足：『おはよう』『返事のように』という作品中の表現を根拠に、自然への親しみを述べている。

問2 発展

『風をまるで話し相手からの返事のように感じている』という鑑賞の根拠となる表現を、詩『返事』から抜き出しなさい。

解答：返事のように

補足：風の動きを返事にたとえて受け止めていることが直接示されている。

根拠を探す

問3 発展

詩『返事』で、芽が出たことが新しい変化だとわかる一行を抜き出しなさい。

解答：昨日までなかった芽が出た

補足：『昨日までなかった』と『芽が出た』を対比することで、新しく起こった変化だとわかる。

問4 発展

詩『返事』で、話し手と自然との距離が近く感じられる理由として最も適切なものはどれですか。

ア芽に『おはよう』と話しかけ、風を返事のように受け止めているから

イ鉢の大きさが詳しく書かれているから

ウ窓の外の天気が説明されていないから

解答：ア

補足：芽に語りかけ、風の動きを返事のように感じることで自然への親しみが表れている。

鑑賞文を完成させる

問5 発展

次の鑑賞文を完成させなさい。『昨日までなかった芽が出た』という表現から、話し手が_____ことが伝わる。

解答：芽が出たことを新しい発見として受け止めている

補足：『芽が出たことを新鮮に感じている』など、新しく現れた芽に気づいていることが示されていればよい。

問6 発展

次の三つを自然な鑑賞文になるように並べなさい。

ア自然への親しみが感じられる

イ『返事のように』という表現から

ウ風の動きを返事として受け止める話し手の

解答：イ→ウ→ア

補足：『根拠となる表現→読み取れる内容』の順にすると、筋道の通った鑑賞文になる。

自分で鑑賞する

問7 発展

詩『返事』について、作品中の表現を一つ取り上げ、その表現から感じられる話し手の心情や作品の印象を書きなさい。

解答：『返事のように』という表現から、話し手が自然を身近な存在として親しみ、芽が出たことを喜んでいる様子が感じられる。

補足：作品中の具体的な表現を一つ示し、その表現と心情または作品の印象を適切に結び付けていればよい。